

行政監査報告

- 1 三種町監査基準（令和2年三種町監査委員告示第1号）に準拠して実施した。
- 2 監査の種類
行政監査
- 3 監査の対象
 - (1) 三種町ホームページの運用
 - (2) 三種町国民健康保険高齢者保健福祉支援センター（ひまわりセンター）の管理運営
 - (3) 三種町立小中学校図書室の管理運営
- 4 監査の着眼点
手続の合規性及び執行・管理の経済性、効率性、有効性
- 5 監査の実施内容
 - (1) 実施期日
令和3年10月26日（火）・27日（水）
 - (2) 実施手続
提出された証拠を確認し、関係職員等からの説明を聴取した。
- 6 監査の結果
 - (1) 三種町ホームページの運用
上記の記載事項のとおり監査した限りにおいて、監査の対象となった事務については、改善措置が必要と認められた。

現行の本町ホームページは、平成23年に導入され、今年度が10年目となる。この間、レイアウトや検索性の不便さ等に対する意見が所管課に寄せられ、その改善のため、令和2年度及び3年度の当初予算に新たなホームページの構築に係る経費を要求してきたが、実現には至っていない。

当職は、令和2年度決算審査において、「町ホームページは、事務事業やイベント、魅力発信の媒体として、高い信頼性を持って最大の効果を発揮すべきものであるところ、当町のホームページについては、網羅的、平面的であり、検索性にも不便を感じることから、移住・定住に向けたアピールなど、時勢を鑑みた機動的な対応によって情報発信力を強化する必要がある。」と意見を付したところであるが、加えて、管理・運用の責任の所在、掲載事項及び更新頻度等を明確にし、各課担当職員の異動等により不明瞭とならないよう、要綱またはガイドライン等を早急に整備することが必要である。

また、ホームページのリニューアルに当たっては、若手職員や地域おこし協力隊等の多様な意見も吸い上げ、他市町村のホームページと比較しても見劣りのしない、町の特色を活かしたホームページとなることを期待する。

(2) 三種町国民健康保険高齢者保健福祉支援センター（ひまわりセンター）の管理運営

上記の記載事項のとおり監査した限りにおいて、監査の対象となった事務については、改善措置が必要と認められた。

三種町国民健康保険高齢者保健福祉支援センター（以下「ひまわりセンター」という。）については、三種町国民健康保険高齢者保健福祉支援センターの設置及び管理運営に関する条例（以下「設置条例」という。）において、設置目的を果たすために5事業部門を規定している。しかし、デイサービス部門として三種町社会福祉協議会（以下「社協」という。）が施設利用する以外は、1部門が休止され、3部門が運営の見込みなしという状況にある。

また、これらの事業部門以外に、設置当初から浴室を一般入浴に供用している。

条例は団体意思であるところ、運営の見込みのない事業部門を相当期間、いたずらに存置している状況からは、設置条例の必要性に疑問を抱かざるを得ない。さらに、デイサービス部門についても、町は直接運営していないという現況であるから、社協による施設利用は代替の可能性を探りつつ、速やかに、今後のひまわりセンターの在り方についての方針を協議し、条例に反映させることが適当と考える。

また、地方自治法は、公の施設を利用する場合の使用料の徴収は、条例で定めるところによりこれをできることとする旨を規定しているが、設置条例においては、浴室を区分とした利用料の設定はあるものの、そもそも、事業部門の規定において一般利用を認めていない。そのため、現状の一般入浴に係る使用料徴収は、違法性が高い、または、条例に瑕疵があると理解せざるを得ない。直ちにこれを精査の上、適正化に向けた善後策を講じられたい。

(3) 三種町立小中学校図書室の管理運営

上記の記載事項のとおり監査した限りにおいて、監査の対象となった事務が法令に適合していることが認められた。

ただし、次の事項については、改善措置が必要と認められた。

小中学校の図書については、小学校は年間15万円、中学校は年間25万円の予算配当によって、各学校の方針、または、児童生徒の意見も取り入れて購入されており、それぞれの学校において図書台帳が整備されているが、様式が統一されておらず、一部の図書台帳においては、廃棄情報欄がなく、図書が存在しているのかどうかも判断できないという問題が顕在化した。

本町の教育委員会は、図書の選定については、学校の自主性を尊重する立場にあるが、それをもって教育委員会は、公費で購入した財産の管理を明確化、透明化す

べきことの責任を負わなくてもよいということにはならない。学校の統廃合が実行の段階になるとき、当然に図書も集約されることとなるため、事前に、統一された図書台帳データベースを構築し、一元管理されている状態にすることが望ましい。